

# デスクトップとのセグメンテーション

注

この文書は、デスクトップユーザーにのみ関連しています。Active Directoryは、新しいWorkstationバージョンではサポートされなくなりました。Workstationユーザーの場合は、[この記事を読んでください](#)。

## 概要

セグメントを使用すれば、アイテムを特定のユーザーにプッシュしたり、ユーザーのビューからアイテムを削除したりできます。お客様のWalkMeコンテンツを一部のユーザーグループだけに表示するには、[\[Manage Segments\]セグメントの管理](#)メニューでセグメントを作成して、それらをセグメント化します。ローカルセグメンテーションを使用して、表示条件をさらに絞り込むことも可能です。

意図的なセグメンテーションはビルドの重要な部分です。WalkMe アイテムが特定のユーザーまたは条件に関連していない場合、セグメンテーションを使用して非表示にすることができます。これによってユーザーは利用可能なタスクに集中すると共に、画面上やウィジェット内の煩雑さを減らすことができます。

- WalkMeコンテンツを特定のユーザーにセグメント化し、よりの絞ったガイダンスを実現
- セグメンテーションセンターを使用してコンテンツを整理し、専用のデスクトップアプリケーションフォルダーを作成

## 使用方法

デスクトップおよびワークステーションでWalkMeソリューションを構築する場合、セグメンテーションは重要なツールです。

WalkMe が関連付けられたルールによって true であると評価した後、表示条件またはセグメントを使用してセグメント化されたアイテムがプレーヤーメニューまたは画面に表示されます。セグメンテーションの作成には任意のルールタイプを使用することができます。

表示条件およびセグメントルールは[ルールエンジン](#)で使用可能な条件を使用することで作成できます。例えば、セグメントを作成すると、変数、日付、画面上の要素やIDPデータによってWalkMeアイテムを整理したり、フィルタリングしたりすることができます。

エディタにおけるほとんどのアプリ（スマートウォークスルー、ランチャー、リソース、シャトル、サーベイ、スマートチップセット、シャウトアウト）は、対象視聴者向けにセグメント化できます。ヘルプデスクとライブチャットは分割できません。

表示条件またはセグメントのないアイテムは常に表示されます。

注

画面上の要素を使用したセグメンテーションは、デスクトップワークステーションでは使用できません。

WalkMeがページに読み込まれるとすぐに、アイテムのセグメントが確認されます。アイテムが表示される前に、セグメントはTrueである必要があります。セグメントのないアイテムは常に表示されます。

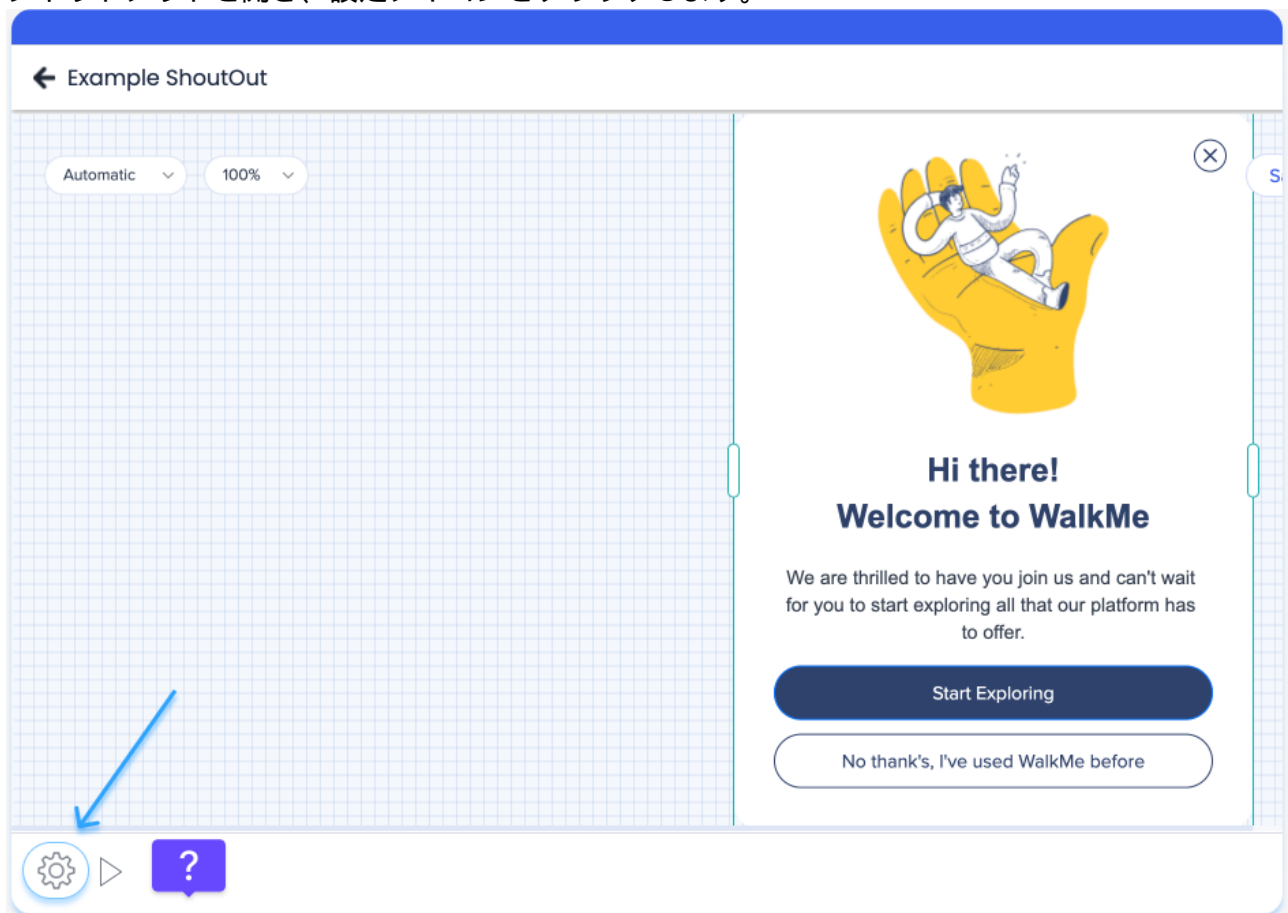
## アクティブなDirectoryセグメンテーション

### Windowsのバージョン3以降にてサポート

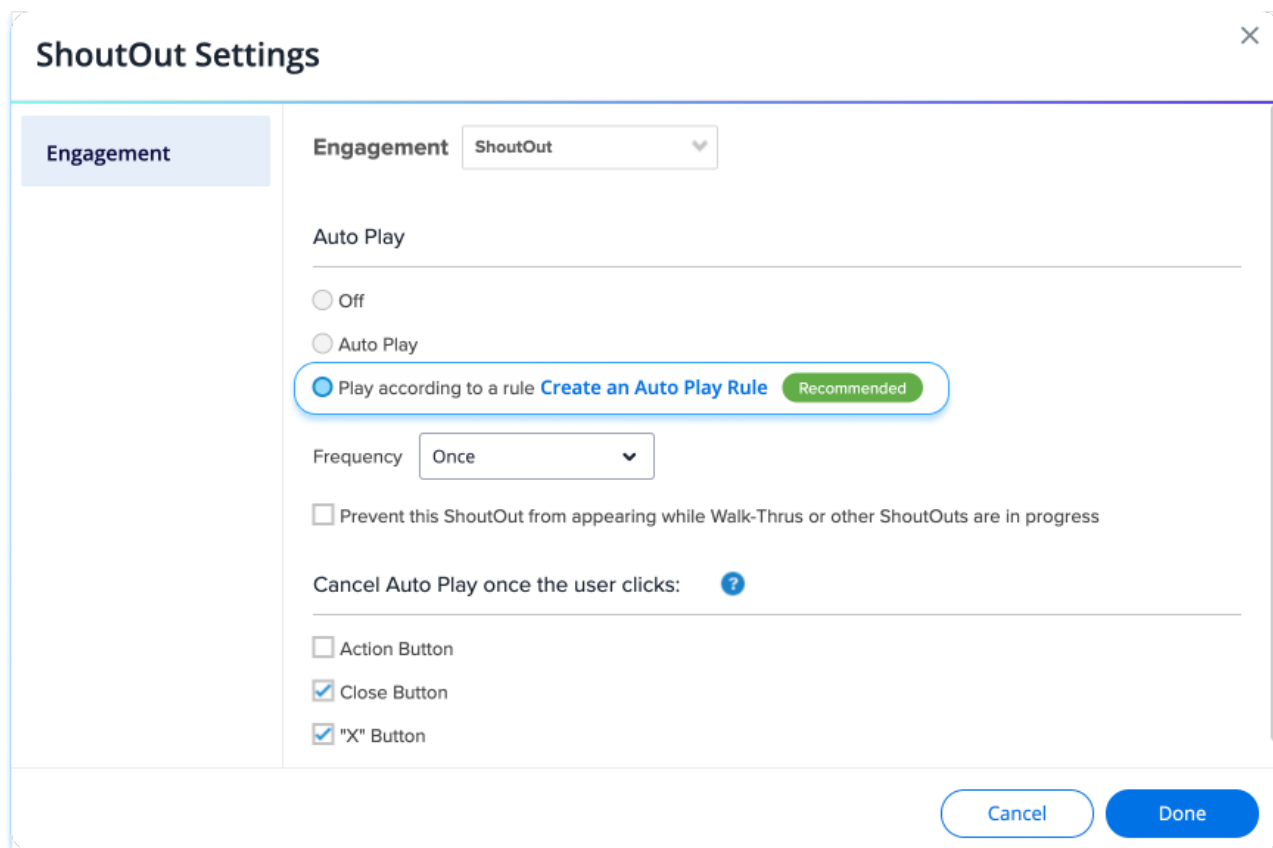
WalkMe DesktopおよびWorkstationは、Active Directoryを使用したセグメンテーションを可能にします。

例：シャウトアウトにおけるActive Directoryセグメンテーションの使用

1. シャウトアウトを開き、設定アイコンをクリックします。



2. [エンゲージメント]タブで、ルールに従って再生



**ShoutOut Settings**

**Engagement** ShoutOut

**Auto Play**

☐ Off

☐ Auto Play

☒ Play according to a rule [Create an Auto Play Rule](#) Recommended

Frequency: Once

☐ Prevent this ShoutOut from appearing while Walk-Thrus or other ShoutOuts are in progress

Cancel Auto Play once the user clicks: ?

☐ Action Button

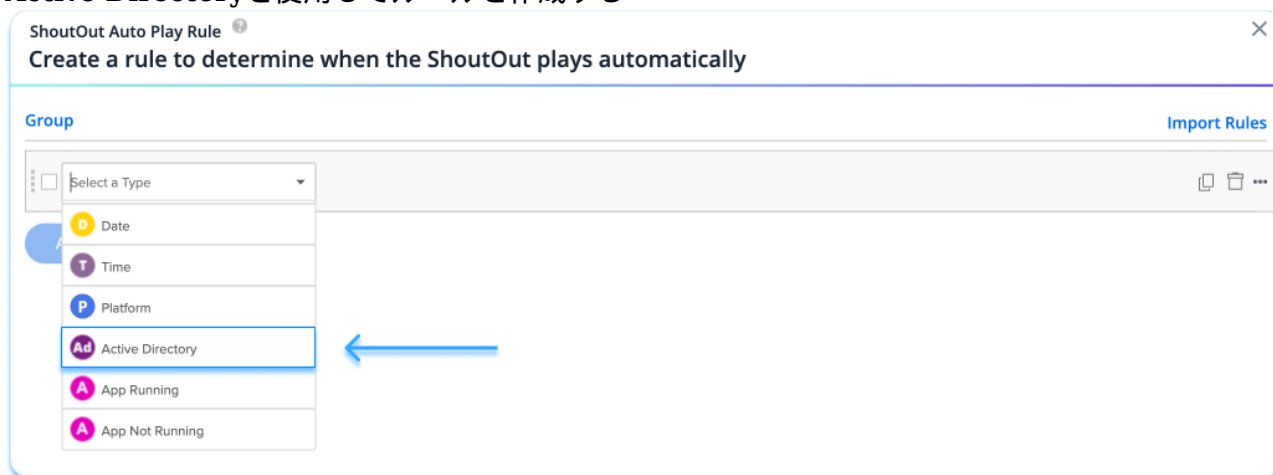
☒ Close Button

☒ "X" Button

Cancel Done

を選択する

### 3. Active Directoryを使用してルールを作成する



**ShoutOut Auto Play Rule**

Create a rule to determine when the ShoutOut plays automatically

**Group** Import Rules

Select a Type

- Date
- Time
- Platform
- Active Directory**
- App Running
- App Not Running

**Active Directory**を使用する場合、ユーザーはセキュリティグループと組織単位「OU」に割り当てられます。

このシステムでは「OUへのユーザーの割り当て（「ユーザーはOUの下にある/（ない）」）またはグループに属するユーザー（「グループのユーザーメンバーである/（メンバーではない）」）によってルールを作成できます。

例：

例えば「X部署」のユーザーは、次のグループに割り当てられます。

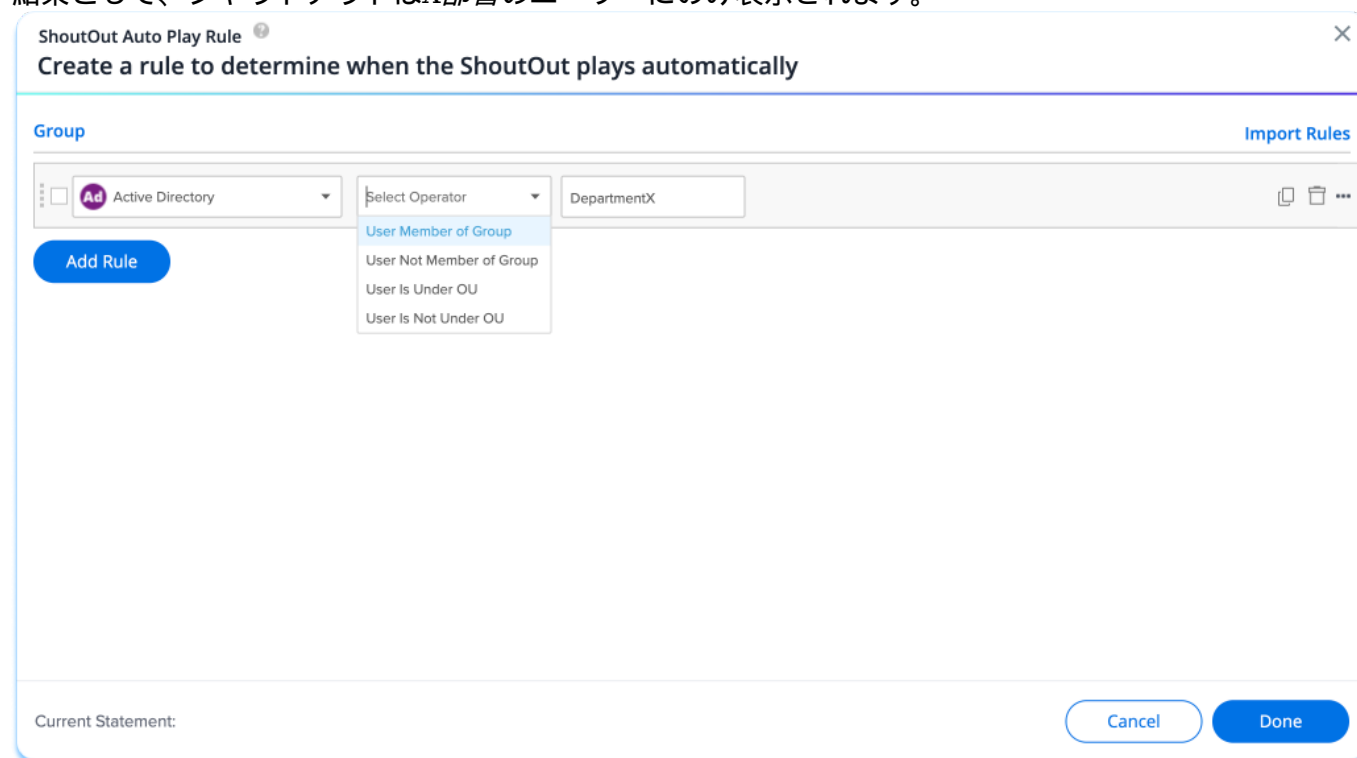
ドメインユーザー、全員、ニューヨーク支社、X部署

注

Active Directoryのグループおよび組織構造へのユーザーの割り当てを取得するにはIT部門にお問い合わせください

このユーザーにシャウトアウトをセグメント化するには、ルールタイプで「ActiveDirectory」を選択し、条件として「グループのユーザーメンバー」を選択し、変数フィールドに「X部署」と入力します。

結果として、シャウトアウトはX部署のユーザーにのみ表示されます。



## IDPによるセグメンテーション

またIDPデータを使用しても利用できます。この機能を有効にするにはInsightsから選択したシステムに統合を設定する必要があります。この設定の完了後、アカウントマネージャーに連絡して有効にしてください。

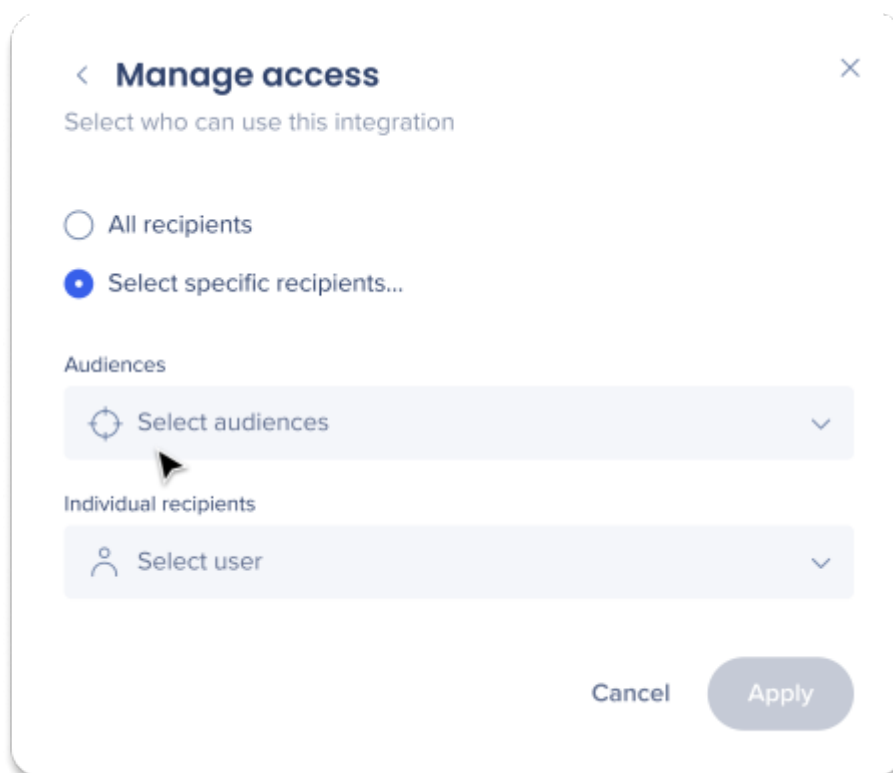
[IDP統合とInsightsから統合の作成にかかるステップについて、詳細な情報はこちらです。](#)

## 統合のためのセグメンテーション

統合は、すべてのエンドユーザーで有効になるのではなく、ユーザーとオーディエンスのサブセットにセグメント化されます。この機能は、統合プロセスを合理化し、ユーザーが作業関連の統合のみを使用していることを確認するのに役立ちます。

Workstationの統合をセグメント化するには：

1. コンソールで[Workstation統合ページ](#)に移動します
2. セグメント化したい統合で、「**すべてのボタン**」をクリックします
3. アクセスの管理ポップアップで「**特定の受信者を選択**」をクリックします
4. ドロップダウンからオーディエンスまたは個々のユーザーを選択し、統合を使用できるユーザーを選びます
5. 適用をクリック



[Workstationの統合についてはこちらをご覧ください。](#)